

二〇〇二年度大会の概況

日本思想史学会二〇〇二年度大会は、十月十九日(土)・二十日(日)の両日、東北大学を会場として開催された。

第一日目は、「大正思想史の諸問題」をテーマにシンポジウムが行なわれた。

大正思想史とアジア・ナシヨナリズム

(大東文化大学) 和田 守

大正期無政府主義者の思惟構造の変化

(山形大学) 板垣 哲夫

大正デモクラシーと大山郁夫

(静岡大学) 黒川みどり

コメント

(東京大学) 苅部 直

ディスカッション  
第一日目のシンポジウム終了後、総会が行なわれ、評議員会より二〇〇一年度事業報告および決算報告がなされ、それぞれ承認された。続いて二〇〇二年度事業計画および予算案が提出され、それぞれ評議員会案どおり決定された。

引き続き、東北大学文化系厚生会館にて懇親会が開催さ

れた。

第二日目の研究発表、パネル・セッションの発表者と発表題目は以下のとおりである(副題省略)。

(第一会場)

研究発表

1、世阿弥伝書における時間性の概念

(筑波大学大学院) 佐々木香織

2、中世における『先代旧事本紀』の受容

(学習院大学大学院) 林 東洋

3、普寂の戒律観

(東北大学大学院) 西村 玲

4、手島堵庵による石門心学の「創出」

(京都大学大学院) 高野 秀晴

5、工藤平助「国益思想」の再評価

(関東学院大学) 矢嶋 道文

6、幕末における固有と普遍

(東北大学大学院) 桐原 健真

パネル・セッション…思想の学と書物の学と

江戸後期の医学の場合

(北里研究所東洋医学総合研究所)

町 泉寿郎

学問の形成と「書物」の集積

(東北大学) 高橋 章則

鈴木商人層における国学受容のあり方

(皇学館大学) 高倉 一紀

〈第二会場〉

研究発表

1、西周の宗教論

(東京大学大学院) 菅原 光

2、陸羯南の「地方」論

(東北大学大学院) 鈴木 啓孝

3、内村鑑三、三度目の回心

(京都大学大学院) 川端 伸典

4、日露戦争期の風刺画の文化比較分析

(広島市立大学) ミハイロバ・ユリア

5、「原理」か「経験」か(大阪外国語大学) 水野 友晴

6、九鬼周造『『いき』の構造』に於ける「移植」と

「回帰」 (東北大学大学院) 池上 隆史

パネル・セッション…津田・村岡・和辻の「天皇」論

津田左右吉と「天皇」 (東海大学) 田尻祐一郎

村岡典嗣と「天皇」 (東京工業大学) 畑中 健二

和辻哲郎の「天皇」論 (日本大学) 田中 久文

〈第二会場〉

研究発表

1、近世政治思想史における文武両道論

(東北大学大学院) 大川 真

2、近世武士道における刃傷事件の思想的位置

(東北大学大学院) 中嶋 英介

3、『六論衍義』関連諸本の思想的考察

(同志社大学) 和田 充弘

4、庄内藩における徂徠学

(東北大学大学院) 高橋 哲

5、十八世紀後半の儒仏調和論と人性論の特質

(立命館大学) 清水 教好

6、平田篤胤の転生観

(早稲田大学) 中川 和明

大会協賛企画として、東北大学附属図書館にて、両日に  
わたり「東北大学附属図書館所蔵 貴重資料展」が開かれ、  
狩野亨吉文庫、夏目漱石文庫、阿部次郎文庫、小宮豊隆文  
庫、榎田民蔵文庫、石津照璽文庫、宮田光雄文庫の貴重書  
や、日本思想史関連の貴重史料、東北ゆかりの史料などが  
公開された。